

みずほCustomer Desk Report 2021/12/03号(As of 2021/12/02)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	112.96 AUD/USD
TKY 9:00AM	112.89	1.1319	127.77	1.3277	0.7108
SYD-NY High	113.33	1.1347	128.21	1.3332	0.7119
SYD-NY Low	112.63	1.1295	127.62	1.3265	0.7084
NY 5:00 PM	113.20	1.1301	127.89	1.3298	0.7094

NY DOW	34,639.79	617.75	日本2年債	-0.1200	0.00bp
NASDAQ	15,381.32	127.27	日本10年債	0.0600	0.00bp
S&P	4,577.10	64.06	米国2年債	0.6137	6.44bp
日経平均	27,753.37	▲ 182.25	米国5年債	1.2007	6.93bp
TOPIX	1,926.37	▲ 10.37	米国10年債	1.4435	4.06bp
シカゴ日経先物	27,905.00	475.00	独10年債	-0.3765	▲ 4.20bp
ロンドンFT	7,129.21	▲ 39.47	英10年債	0.8115	▲ 0.75bp
DAX	15,263.11	▲ 209.56	豪10年債	1.6520	▲ 7.80bp
ハンセン指数	23,788.93	130.01	USDJPY 1M Vol	7.50	▲ 0.38%
上海総合	3,573.84	▲ 3.05	USDJPY 3M Vol	7.45	▲ 0.05%
NY金	1,762.70	▲ 21.60	USDJPY 6M Vol	7.43	▲ 0.03%
WTI	66.50	0.93	USDJPY 1M 25RR	-0.99	Yen Call Over
CRB指数	219.545	1.15	EURJPY 3M Vol	7.68	▲ 0.14%
ドルインデックス	96.16	0.13	EURJPY 6M Vol	7.98	▲ 0.08%

東京	東京時間のドル円は112.89レベルでオープン。オープン直後に一時112.82まで下落する場面は見られたものの、ほどなくして反発すると、その後は113円ちょうど近辺で動意の薄い展開。112円台での底堅さは感じるものの、変異株に対する警戒感もあってか上値は押さえられた形。比較的狭いレンジ内での値動きに終始し、113.04レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、113.04レベルでオープン。特段の材料がない中でリスクセンチメントに連れた動きだった。立ち上がり欧州株がやや持ち直す中で113.33まで上昇する場面もあったが、株が再び下落に転ずるとドル円も112.71まで売られ112.82レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は112円台後半でスタート。日本株が下げ渋り、中国株が底堅い推移を見せたほか、米長期金利が上昇する中、ドル円は買い優勢となり一時113.33まで上昇。しかし、50日移動平均線(113.36)付近で上値重くなり、その後米金利低下や欧州株の下落を受けて売りに転じ、112.71まで反落後、112.82レベルでNYオープン。朝方は112.74まで下落するも、米失業保険の新規申請件数と継続受給者が予想以上に改善したことから113円手前まで持ち直した。その後、「OPECプラスが現在の原油増産ペースを来年1月も維持することで合意」と伝わり原油価格は急落するも、ドル円の反応は限定的だったが、米長期金利の上昇やダウ平均の上げ幅拡大、そしてボスティブ・アトランタ連銀総裁がテーパリング終了の早期終了や利上げ前倒しの可能性を示唆したことがドル買いをサポートし、113円を回復。午後は米株の上げ幅拡大や米長期金利上昇を受けて113.24まで買われるが、明日に米雇用統計発表を控える中、更なる上値追いは限定的だった。終盤は高値圏で小動きとなり、結局、113.20レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.13台前半でスタートし、明確なユーロ買いの材料は見当たらなかったが、ユーロ円の上昇に連れ高となり、一時1.1347まで上昇。早朝にかけて買いは一巡し、小幅反落後、1.1342レベルでNYオープン。朝方は1.1340付近でもみ合いで始まるが、レーンECB理事が「ほとんどのインフレ項目は一時的なものである」とハト派色の強い見方を示したことからユーロ売りが強まり、1.1295まで下落する。午後は1.1300を挟んだ狭いレンジでの取引が続き、結局、1.1301レベルでクローズ。

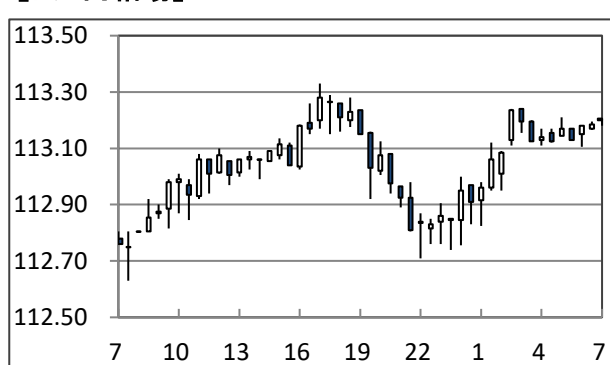
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月2日	19:00	欧 PPI(前月比/前年比)	10月 5.4%/21.9%	3.8%/19%
	19:00	欧 失業率	10月 7.3%	7.3%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	27-Nov 222k	240k
12月3日	01:00	米 クォールズFRB理事 講演	「テーパリングの早期終了を支持」	
	01:30	米 ボスティブ・アトランタ連銀総裁 講演	「2022年第一四半期までのテーパリング終了が適切」	

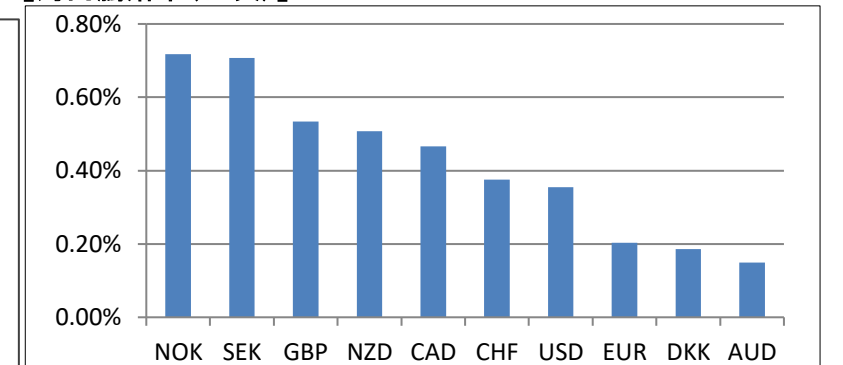
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月3日	17:55	独 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)・確報	11月 53.4/52.8	53.4/52.8
	18:30	英 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)・確報	11月 58.6/57.7	58.6/57.7
	19:00	欧 小売売上高(前月比)	10月 0.3%	-0.3%
	20:00	英 サンダースBOE委員 講演	-	-
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	11月 550k	531k
	22:30	米 失業率	11月 4.5%	4.6%
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	11月 0.4%/5.0%	0.4%/4.9%
	23:15	米 プラート・セントルイス連銀総裁 講演	-	-
	23:45	米 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)・確報	11月 57/-	57/56.5
12月4日	00:00	米 製造業受注/除輸送(前月比)	10月 0.5%/0.6%	0.2%/0.7%
	00:00	米 耐久財受注/除輸送用機器(前月比)・確報	10月 -0.5%/0.5%	-0.5%/0.5%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.50-113.80	1.1200-1.1360	127.00-128.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円はレンジ内もみ合い。東京時間は底堅く推移していたものの、オミクロン株への警戒もあり欧州時間からドル円は売り優勢に転じ、一時112.71まで下落。しかしながら、その後はFED高官からのタカ派発言が相次いだことで米金利は上昇、ドル円は113円台を回復し、113.20レベルでクローズ。

本日のドル円は米11月雇用統計待ちの展開。昨日はボスティブ・アトランタ連銀総裁もテーパリング加速、利上げ前倒しの可能性を支持しました。次回FOMCに向けてタカ派警戒が続きドルは底堅い動きとなりそうですが、オミクロン株の詳細、経済への影響は依然不透明。昨日は戻しましたがリスク資産は依然として上値重く、米11月雇用統計を控えて動きは限定的か。テーパリング加速は既に織り込み済みとみられ、予想外に弱い結果に警戒か。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:伊藤・上遠野